

令和4年度秦野市在宅医療介護連携推進事業 第2回多職種研修会アンケート結果

開催日：2022年11月16日

集計日：2022年12月1日

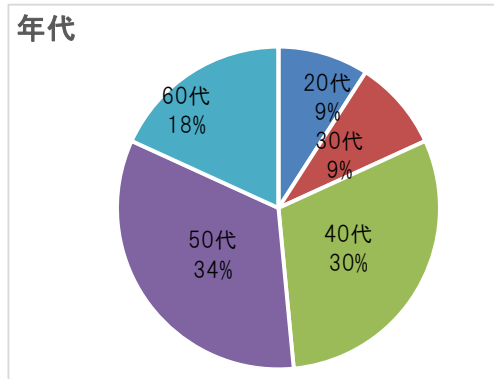
参加者数	回答数	回答率
49	33	67.3%

1 職種

医師	歯科医師	薬剤師	看護師・保健師	介護支援専門員	社会福祉士	リハビリテーション 職 (PT, ST, OT)	介護福祉士	精神保健福祉士	MSW	管理栄養士	その他
2	1	5	9	10	1	3	2	0	0	0	0

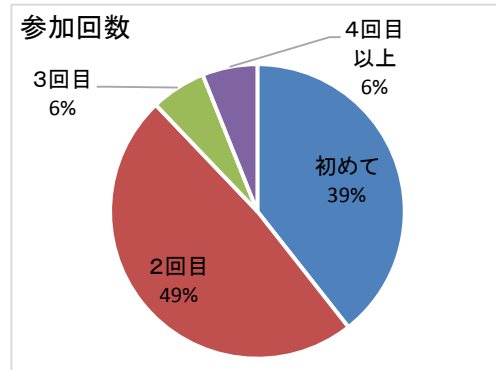
2 年代

20代	30代	40代	50代	60代	70代
3	3	10	11	6	0



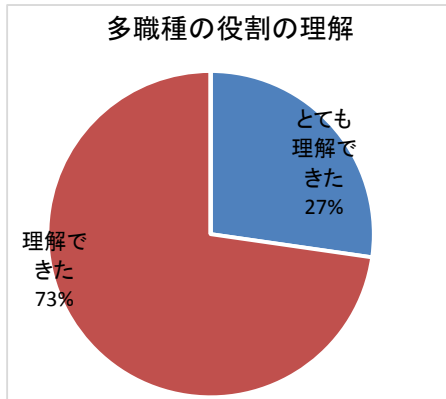
3 多職種研修会の参加回数

初めて	2回目	3回目	4回目以上
13	16	2	2



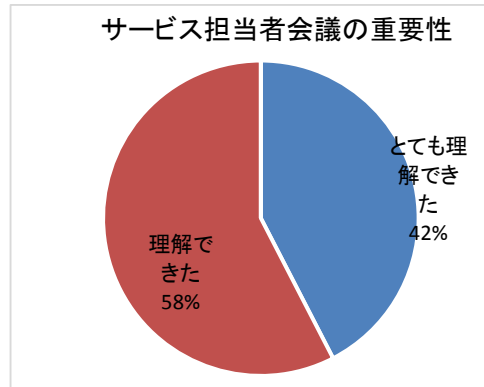
4 在宅療養を支援する多職種の役割の理解

とても理解できた	理解できた	あまり理解できない	理解できなかった
9	24	0	0



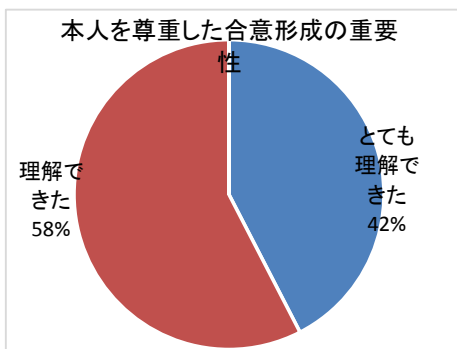
5 サービス担当者会議の重要性の理解

とても理解できた	理解できた	あまり理解できない	理解できなかった
14	19	0	0



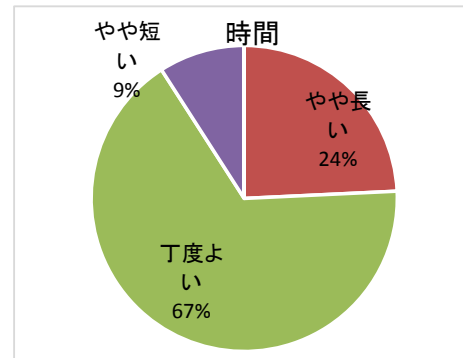
6 それぞれの価値観や多様性を理解したうえで本人を尊重した合意形成を行う重要性の理解

とても理解できた	理解できた	あまり理解できない	理解できなかった
14	19	0	0



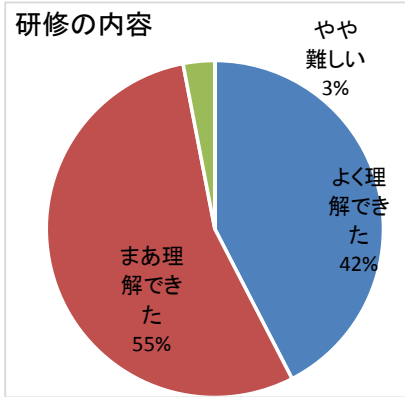
7 研修の全体評価としての時間について

長い	やや長い	丁度よい	やや短い	短い
0	8	22	3	0



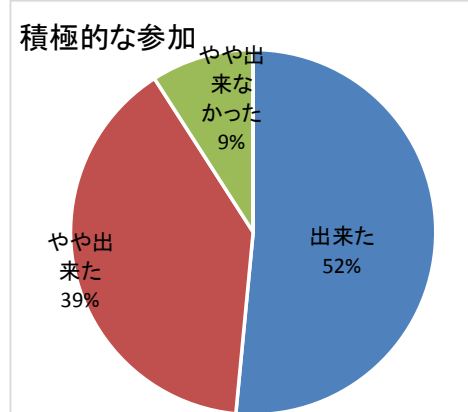
8 研修の内容について

よく理解できた	まあ理解できた	やや難しい	難しい
14	18	1	0



9 積極的に参加できたか

出来た	やや出来た	やや出来なかった	出来なかった
17	13	3	0



10 自由記載意見等

研修お疲れ様でした。アンケート遅くなりすいません。今回のグループは担当者会議の経験のある方々が多く、スムーズに進行出来ました。役になりきり、その役に立つての発言や役割を意識しながら実施する事で、とてもいい体験になったという意見や、支援者だけでなく自分自身の長男や嫁の立場に立つて意見をまとめる事での心情の体験ができてよかったという意見もありました。また次回もよろしくお願ひします。

zoomでの参加は、初めてでしたが周りの皆様の協力でとても良い研修に参加出来ました。他職種になる事で分かったなかった部分を感じ反省と今後に行かせたらと思ひました。忙しい中ありがとうございました。

配布資料がどのメールに添付されているのかわかるように、メールのタイトルを「参加者はダウンロード必須」とか「重要」とかつけて配信してもらえるとありがたいです。

利用者さんの目線を意識して話を進める大切さを学べました。訪問でも意識して行いたいと思ひました。

初めて参加させて頂きました。グループワークでは、違う立場になって考える事大切さを学ばせて頂きました。一人の方を支援されている多職種の方々の助言を受けて、ご本人様、ご家族様の想い一つになるように目標を持ち、連携を取る事大切さを実感致しました。ありがとうございました。

医師役をやったが、家族や本人の不安や価値観の相違を踏まえた具体的な対応策を出せなかった

普段はケアマネジャーとしてサービス担当者会議において司会を行う事が多いのですが、今回初めて家族(長男)の立場になりサービス担当者会議に出席する事ができました。家族の立場として出席されている事業所様の意見やケアマネジャーからの説明を聞き、障害のある父親本人のほか、介護者である母親の負担についても考えてくれている事に模擬サービス担当者会議ではありますが、皆様に協力してもらえれば、父親が強く希望している自宅での生活をまだ続けられるのではないかと安心しました。

ケアマネジャーとして日々業務に就いている自分自身、今回ケアマネジャー役になった看護師様の説明の仕方や取りまとめ等が、とても親切で分かり易く、複数の関係者がいることで緊張してしまうような状況になりかねないサービス担当者会議において、温かく穏やかな空気の中でとり行っていた事が素晴らしく、自分自身もこうありたいと勉強になりました。

次回も機会があれば是非参加したい気持ちであります。

お疲れ様でした。

接続のトラブルが何度かありましたが、ZOOMの利用により効率的に研修を進めることが出来て良かったです。

普段は地域包括で要支援の方のケアマネジメントを実施しているため、今回のような多くの職種が一同に会して担当者会議を実施することがありません。実際には医師や薬剤師が担当者会議に出席するケースは少ないかもしれませんが、在宅介護ご行上で最も重要で説得力のある主治医が同席することで、ケアの方向性や関係者間の意思統一が図りやすくなると思ひました。今回、訪問看護と訪問リハビリの役をやらせて頂きましたが、なかなか上手く助言出来ず専門職が介入すること大切さも実感しました。また、会の進行・まとめ約であるケアマネジャーの進行の仕方によっても、意見の出し易さや会議内容の充実度や効果が変わって来ることを感じ、今後の自身が行うケースにおいて活かせる学びが得られました。もう少し時間があれば良いと思ひましたが、実際にこれだけ多くの人たちが長時間費やす事は難しいと思ひるので、時間を掛けるより進行の仕方や事前の準備などをしっかり行うことで、短時間でも効果的な会議が実施出来ると思ひます。

事例を通して、自分の職種でない専門職の役割で担当者会議という場で発言をし、視点が広がる感じがしました。他の専門職の様々な意見を伺うことができる しい勉強の場だと思っており、研修を企画運営していただき感謝します。次回も是非参加させていただきたいと思います。ありがとうございました。

多職種の研修会、有難う御座いました。いつもは、担当者会議を主催側にいますが、今回は家族側の長男と言う役を体験しました。家族の立場になり、役を演じる事は難しく感じました。良い体験をさせて頂きました。今後の、業務に役に立てて行きたいと思います。有難う御座いました。

ご自宅に大人数が集まったり小一時間集まったりはコロナ禍だと良いことではありません。今回のようなzoom形式でサービス担当者会議が開催されるのも良いと思います。ご家族が遠方にお住まいでも参加できますし、関連職種の方も時間で抜けないといけない場合にzoomだと抜けやすいです。

これまでの経験で、担当者会議が滞りなく行なえていたのが、事前の情報共有、方向性の明確化、それぞれの専門性に特化した発言や進行、それまでに築かれている互いの関係性などが相互的に作用しているものと感じました。

予期せぬリアクションに対しての対応力など、専門性があるからこそできる対応と改めて感じました。

以上より、案じた後に普段の専門職だったらどう対応したのだろうと、代表者による寸劇なども見てみたいと感じました。

自分と違う職種になりきることが、気恥ずかしさの部分も含めて難しいと感じました。機会があればこういった担当者会議に実際に参加して、より見聞を広めたいと思います。

自分達のグループの話し合いも重要ですが、その後の他グループの話し合いの内容を聞いたのが良かったです。自分たちは気づけなかったことやうまく言葉に出来なかったことが、繋がりました。なので、今回は回線が切れてしまうアクシデントはありましたが、学ぶことが多かったです。

専門職意外の役割はたいへん難しいと感じました。他職種の働き方を理解しようと改めて思いました。

他職種の立場になってこそわかる気づきが沢山あったので、他職種の業務内容を理解した上で、薬剤師の立場から患者さまのサポートがよりよくできるようしていきたいと思いました

本人が望むケアと専門職が必要と考えたケアは必ずしも一致しないことを各々が意識しておかないといけないと思います。病院では医師や病棟看護師の言う事に患者は従いますが、在宅では本人の価値観や信条が優先されるため、病院の時に話したことと違う希望を話すことはよくある事です。本人や家族の本音はどこにあるのかとアセスメントを深化しながら取り組む必要があり、その為にも多職種間で本人や家族の情報を共有しアセスメントを繋げて行く作業が大事になります。

初めての参加で勉強になりました。ありがとうございました。